

東京大空襲により心をこわされた子たち

独りぼっちの人生

せいかつ

若い人たちが東京大空襲の戦争孤児たちの想いを知るには、
浅見洋子の『独りぼっちの人生—東京大空襲により心をこわされた子たち』
を読むことが最短の道になる。



石川智恵子さんがなぜ「東京大空襲訴訟」の原告になったか。浅見さんがどうして智恵子さんの詩を書こうとしたのか。二人の出会いからこの詩集が始まったことを知ることが出来る。そして二度と空襲・空爆によってこのような悲劇が世界中のあらゆる場所で起らないように、私は浅見さんによって伝えられた六名の東京大空襲の悲劇と戦後の苦難の経験を多くの人びとに読んで欲しいと願っている。

—鈴木比佐雄（詩論家）葉解説文より



巻末には「独りぼっちの人生」に触発された
61名の中学生の手作り絵本をフルカラーで紹介。



浅見 洋子（あさみ ようこ）略歴

一九四九年生まれ。和洋女子大学卒。

著書

詩集『歩道橋』（けやき書房）／詩集『交差点』（けやき書房）

詩集『隅田川の堤』（けやき書房）／詩画集『母さんの海』（世論時評社）

詩集『マサヒロ兄さん』（けやき書房）／詩集『もぎ取られた青春』（花伝社）

詩集『水俣のこころ』（花伝社）

詩集『独りぼっちの人生—東京大空襲により心をこわされた子たち』（コールサック社）

『大空襲三一〇人詩集』（コールサック社）、

『鎮魂詩四〇四人集』（コールサック社）に参加。

現在、ニッポン放送テレホン人生相談回答者。

全国空襲被害者連絡協議会の運動に携わっている。

株式会社コールサック社

〒173-0004

東京都板橋区板橋 2-63-4-509

TEL 03-5944-3258

FAX 03-5944-3238

<http://www.coal-sack.com>

書籍はお電話、ホームページからもご注文いただけます。

— FAX 注文用紙 —

『独りぼっちの人生—東京大空襲により心をこわされた子たち』1冊：2,100円（税・送料込み）

（氏名）

（住所） 〒 —

（電話番号）

（冊数） 冊

*ご記入の上、03-5944-3238までFAXをお送りください。

書籍送付時に郵便振替用紙を同封致します。

全国の書店でもご注文いただけます。（一部書店を除きます）

独りぼっちの人生 せいかつ 浅見洋子 目次

第一章 独りぼっちの人生——六歳の智恵子
夕日／子守／差別／結婚／祈り

第二章 こわれた心——一歳の幸一
別れ／子犬のシロ
こわれた心／幸一の戦後

第三章 うばわれた魂——三歳の由美子
叔母の背／伯母の家で
恐怖／声／二行の命

第四章 三ノ輪の町で——八歳のマサヒロ
空襲／母ちゃんと／三ノ輪の町
ヒロポン／アルコール依存症
家庭内暴力／別れに／マサヒロの心は

第五章 沈黙をすて——一二歳の絃子
炎のしたで／夜叉／父の実印
涼子ちゃん！ ごめんね／ありがとう
沈黙をすて

第六章 六六年目の おびえ——九歳の和子
六六年目の おびえ／戦争孤児の思い
小さなお母さん／震災によせ
戦争孤児茉莉／復興と平和を

跋文 原田敬三

祈り

出された茶には

手をつけず

淡々と話す 智恵子

彼女は 五三歳の時

蜘蛛膜下出血し

生死を さ迷ったそうだ

その時の事を

子どもが 話してくれた

—— 凄く 怯えていたよ

—— 苦しそうに 叫んでいたよ

—— 母さんは 大変な苦勞を

—— して来たんだなど 思ったよ

と 嬉しそうに語った

彼女には 今でも

後遺症があるそうだ

六歳で止まった

壊されたままの

心の時計

不安と恐怖と怒り

家族を慕う

狂おしい 孤独

わたしは 涙を押しかくし

新しい茶を 入れかえながら

彼女の心の

癒される日が来ることを

智恵子さんの怒りが

解かれる日を 願った